

小学生の息子さんのアトピーと花粉症の治療経過。

「アトピーと花粉症（2004年）

そして再びアトピー（2009年）」

（お母様記述）東京在住、山下 9歳

2010年8月26日

保育園年中のときに、足の甲と膝の裏にアトピーが出始めました。最初はアトピーとは分からず、近くの皮膚科を受診し、塗り薬をもらいました。2つもらつたのですが、1つは強い薬ということで、連日続けては塗らないように言われました。漠然と、「連日塗れないような薬を塗って治るのか・・・。」と思いました。その強い薬を塗ると、一時的には良くなるのですが、完治しているようには思えず、そこから、ネットで調べて、松本医院を知りました。（2004年10月）

苦い漢方を子供が飲んだのも、自分なりにアトピーを自覚していたからだと思います。漢方を飲み始めて1週間、2週間すると、アトピーの症状が良くなっているのがなんとなくわかりました。





(添付 8 枚の写真は 2004 年 10 月、11 月、12 月、2005 年 1 月に撮影した足の甲（4 枚）と膝の裏（4 枚）の写真です。1 カ月ごとに見ると、アトピーの症状が良くなっていくのが、よくわかります。) 毎日見ていると、小さな変化はわかりにくいくらいですが、写真に撮っておくと、その変化がよくわかります。2005 年 3 月頃にかけて、アトピーは殆ど出なくなっていましたが、花粉症の症状がひどく、保育園で散歩に出掛けたときには、目ヤニで目が開かないほどでした。そして、顔をこすってしまうので、真っ赤に顔が腫れているような状態でした。子供も目の痒さを痛感していましたので、小さな子供ながらに苦い漢方を必死で飲んでいたのを覚えています。子供自身が実際に足のアトピーが良くなったのも実感しているので、花粉症も漢方を飲めば治ると信じていたと思います。2 年間くらい飲み続けたでしょうか。花粉の時期になっても花粉症の症状も出なくなってきたので、子供が漢方を飲みたがらなくなり、勝手ながら中断しておりました。

2009 年 10 月頃から（小学 3 年生）、子供が、週末の昼食時にインスタントラーメンを好んで食べるようになりました。現代のインスタントラーメンは多種多様で、私も一緒に食べていました。すると、子供の肘に何となくポツポツ・・・そしてポリポリと搔くようになりました。最初は、肘だけでしたが、そのうち膝の裏、脇の下、背中、そして、オチンチン周辺にまで・・・。またアトピーが始めたんだ・・・と。でも、足に出ていたアトピーが綺麗になつた経験をしていたので心配や不安はありませんでした。

一時中断していた漢方をまた飲み始めました。勝手に中断していたにもかかわらず、松本先生からはお叱りの言葉はありませんでした（＾＾）。しかし、手記を提出するように言われました。完治したら本当に書くつもりでしたが、松本先生の一言、「治ったら、書かないのが人間というものや～。」と。納得！こんな手記しか書けず恐縮です。